

軸受摩耗監視システムの構成

本システムは、軸受摩耗センサ、油中水分センサ、中継ユニット、専用ディスプレイから構成されます。軸受摩耗センサは、すべり金下部の片端のギャップを検出するように設置され、各筒のクロスヘッドAFT/FOREに配置されます。それぞれのセンサによりギャップの変化を検知した場合、そのセンサの組合せにより主軸受、クランク軸受、クロスヘッド軸受の何れの異常かを識別する様になっています。油中水分センサは、システム油主機入口に配置され、LO中の水分活性値(aw)を監視します。専用モニタはエンジンコンソールに配置され、各センサデータの監視を行います。

